

株式会社ジェイコム東京 東京北局
放送番組審議会 議事録

平成 30 年（2018 年度）株式会社ジェイコム東京 東京北局 放送番組審議会委員会は、2019 年 3 月 18 日（月）株式会社ジェイコム東京 東京北局 会議室で開催された。

【放送番組審議会委員】

尾花 秀雄 様
越野 充博 様
雲出 直子 様
大前 孝太郎 様
杉山 徳卓 様
吉原 隆平 様

事業者側から J:COM チャンネル（11ch）と J:COM テレビ（10ch）について報告があった。

【質疑応答・意見交換】 進行：見城会長

■今後の番組作りに関して

委員

昨年の本審議会で伺った番組方針が実現できていると感心した。今後は専門チャンネルと地域を結びつけた連携企画を試みてはどうか。例えば時代劇専門チャンネルの「鬼平犯科帳」は人気シリーズで過去作でも定着した視聴者がいる。「鬼平が住む町」を紹介した書籍もあり、江戸の町や王子が綴られている。こうした連携企画も検討して頂き、北区に関する情報を更に発信して頂きたい。

委員

e ゲーム番組の説明があったが、王子に不登校児が通う学校がありテレビゲームを推奨しているとの事。テレビゲームは対戦型が多く、そこでコミュニケーションを図り友達作りに有効なのが理由。現在、わんぱく相撲の特番を実施して頂いているが、新たな企画として会場でゲーム大会を検討して頂ければ地域活性化になるのではないか。こうした企画があれば是非協力したい。

■2020 年オリンピック・パラリンピックに向けて

委員

北区は東京オリンピックの事前キャンプ地としてハンガリーの柔道協会、フェンシング連盟の誘致が確定して

いる。現在、商工会でハンガリー音楽家との気運醸成イベントを企画しており、北区広報を中心に協力し合える取り組みが出来たら良い。

事務局

ジェイコムでも可能な限り取り組んでいきたいと考えている。デイリーニュースや音楽家を「東京北人図鑑」に出演して頂きイベント告知するなど可能である。

委員

オリンピックは権利的に難しく、可能な範囲で実施できる企画を北区広報を中心に、各団体が連携して実施したい。

委員

地上波では観られない競技がある。メディアへの情報発信の苦手なスポーツ団体もあるようだ。しかし、テコンドーは大会の中継がないが競技は大変面白く良いコンテンツである。当社にテコンドー選手が所属しており団体への仲介も可能。テレビ露出が少ない競技は権利の縛りが緩和なので競技の面白さを伝えていくと有益だと思う。

事務局

今年、新たな試みとして視覚障害者の柔道大会を特番化した所、好感を持って頂いた視聴者層があった。これまでインターネット放送のみであり、テレビ放送を望んでいたとのこと。露出の少ないスポーツなど未知数は多いが、今後多くのスポーツに取り組んでいきたい。

事務局

スポーツ人気は 2020 年がピークとなることが予想されている。当社としては地域スポーツをそれ以降も続けて紹介していき、魅力を伝えていくようにしていきたい。オリンピック後も人気が続くようにする事も使命と考えている。

事務局

北区にある JOC アカデミーではオリンピックに向けて頑張っている多くの若手選手がいる。現在、取材の交渉を進めており、将来のオリンピック候補をアーカイブとして残していく事も検討したい。

■ 発信の場としての CATV

委員

区の多くの部署からデイリーニュースで取材してほしいという声が増えている。広報誌だけでは伝えきれない情報をジェイコムを通じて発信することも大切。北区に限らず都内・全国に北区情報を発信していきたい。

委員

北区から発信するものが全国展開でき、さらに世界に通用するように意識して作りこんでいくような、グローバルな視点で企画運営をしなくてはならない。北区からの発想もそういう視点で考えないといけない。

事務局

先日、JR 赤羽駅の発車メロディがエレファントカシマシの楽曲に変わり、多くの地上波ニュースで取り上げられたのが良い例。内容次第では北区から発信する情報を全国展開として広げることができる。

委員

シティプロモーションとしてジェイコムと取り組んでいくよう、発信元として北区広報課にも頑張ってほしい。

委員

ジェイコムでは現在のインスタグラムのほか、SNS 発信の強化に期待。制作の裏話など、1 人ではなく年代別の複数人のスタッフの視点で工夫しながら発信していくもの良い。若い人の発信力は素晴らしいものがあるので、ジェイコムからの更なる北区情報の発信を希望したい。

以上